

投票で

社会に関わる!

# 学生と考える、 投票率向上プラン。

# 取り組みの歴史

**平成25年7月の参院選～**

私立松山大学内に期日前投票所を設置・facebook開始

**平成26年2月～**

松山大学生を選挙コンシェルジュの1期生として認定

**平成26年4月の市議選**

選挙コンシェルジュと初めての本格的な広報活動

**平成26年9月**

愛媛大学生を選挙コンシェルジュ2期生として認定

**平成26年11月の知事・市長選～**

松山大学に加え、国立愛媛大学内に期日前投票所を設置

## 身近な場所に期日前投票所を

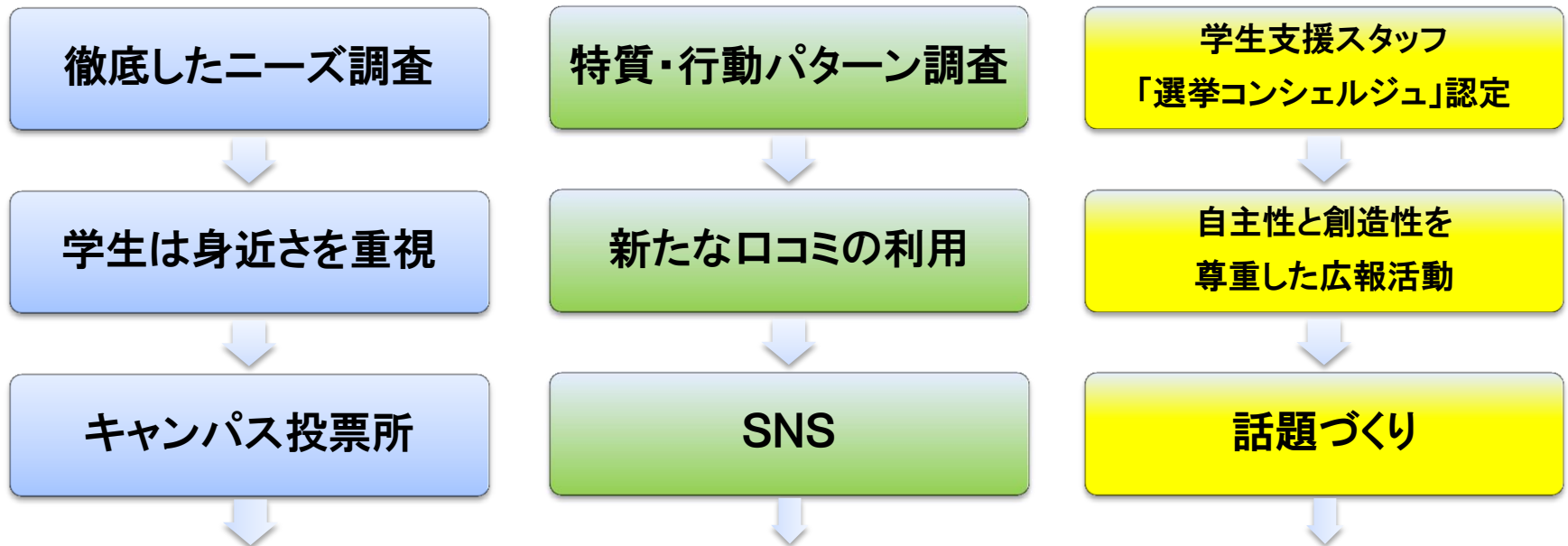
### ●期日前投票所設置

- サービス向上の最大の武器
- こないのならこちらから行く
- 若者が局所的に集まるのは大学

# 3本の矢

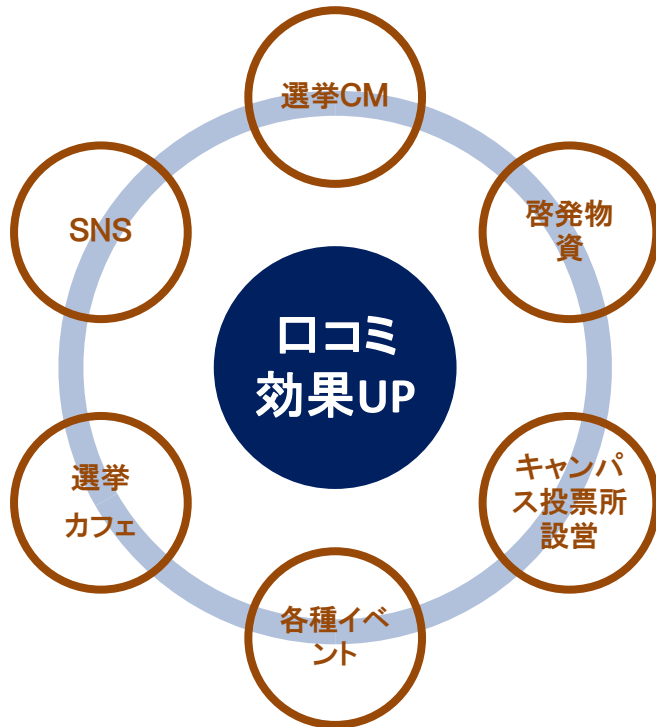
## 【コンセプト】

これまでの総花的な啓発活動から、若年層にターゲットを絞り込んだピンポイント広報へ  
(以下「広報活動」)



**若者の投票率UP！そして継続とさらなる拡大へ**

## 具体的な活動例



### ○選挙CM作成

コンシェルジュが企画・出演・撮影・編集まで行う→テレビCM等で放映

### ○大学で配布する啓発物資の企画・配布

学生受けする啓発物資の企画による「クリアファイル」が特に好評

### ○キャンパス投票所のレイアウト検討

休憩所や花、ポスターなどの設置、投票所の設営など

### ○「選挙カフェ」の設置

学生食堂を「選挙カフェ」と称し、全テーブルにテーブルポップと選挙公報を配置

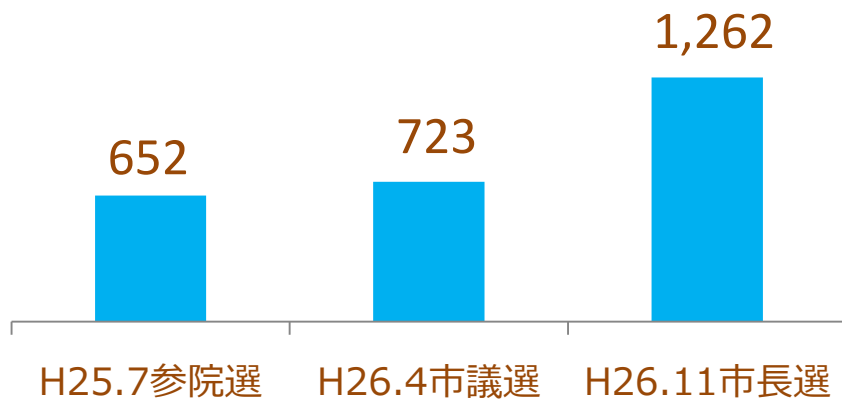
### ○上記の活動などを市選挙管理委員会facebookや学生自身が普段利用しているのSNSで拡散

話題性を広げ、パブリシティを活用することで、メインターゲットである若者だけでなく、全年代への啓発効果向上を狙う。



# 取り組みの効果

## キャンパス投票所の利用者数



20～22歳の期日前投票者のうち、  
**3人に1人**はキャンパス投票所を利用。

(アンケート結果)

○投票率

**64%**

(松山市平均27%)

※当市有権者のみ集計(75人)

○大学内への期日前投票所の設置は、選挙や政治への関心を高める効果がある、どちらかといえば効果あると思う

**90%**

【H26.4市議選後の松山大学生362人に対するアンケート結果より】

- 若者は意外と関心がある！
- 少し背中を押す
- 参加、ではなく「参画」を！
- 全国への拡がりを！